

# 理学療法士支援 要員

## ポリシーステートメント

© World Physiotherapy 2019  
[www.world.physio](http://www.world.physio)





# 理学療法士支援要員

WCPT（世界理学療法連盟）は、理学療法士支援要員の導入に関する方針は、国家レベルで決定すべきだと考えている。理学療法は、国際的に認識されている専門職である。資格を持ち、（国家や州の法律が求める場合）正式に認可又は登録された理学療法士のみが実践を許される。WCPTは、理学療法士支援要員が導入される際には、上質な理学療法サービスの提供のためにも、理学療法士による指導および監視が不可欠であると考え。上質な理学療法サービスに必要な指導と監視の程度は、関わる人間の教育、経験、責任や、患者／クライアントのニーズ、理学療法サービスが提供される組織的構造など、いくつもの要因に左右されるものである。

WCPTは、理学療法の現場における支援要員の導入に関しては、加盟組織によってスタンスが異なることを認識している。患者／クライアントへ直接診断を行う際の支援要員の導入を支持しない加盟組織がいる一方で、支援要員のために具体的な進路を丁寧に定めている加盟組織もある。

「支援要員」という言葉は、理学療法アシスタント、理学療法補佐、理学療法技師、理学療法ヘルパーなど、幅広い職を含む一般的な意味で使用している。

理学療法士の支援要員が導入されている地域では、加盟組織は、以下の項目を保証すべきである。

- 「支援要員」は、「理学療法士アシスタント」、「理学療法士補佐」、「理学療法士技師」、「理学療法士ヘルパー」のみに当てはまり、「理学療法アシスタント」、「理学療法補佐」、「理学療法技師」、「理学療法ヘルパー」には当てはまらない。
- 理学療法士の支援要員は、理学療法士が選択した介入／治療や、理学療法士の指導と監視のもとで適切に提供される理学療法サービスにおいてのみ、理学療法士をアシストする。
- 理学療法士支援要員の監視の頻度や性質は、その状況に適しており、地元のガイドラインに沿っている。
- 理学療法に従事する者は、理学療法士支援要員の導入の可能性、その役割、要求される能力などに関連する人事の話し合いや決定や方針の変更に積極的に関与している。
- 加盟組織は、効率的な消費者方針やマーケティング方針を用いて、支援要員が決して資格を持つ理学療法士の代理ではないことを、雇用者、政府、地域共同体に伝えている。
- 患者／クライアントが接する支援要員が理学療法士ではないことを理解してもらうために、理学療法士支援要員を導入しているサービスは、支援要員の導入を明確に提示することを保証する。
- 州又は国家の法律／規制／承認制度に従っていることを保証するために、理学療法士の支援要員が担当する領域の範囲を明文化する必要がある。
- 理学療法士支援要員は、加盟組織が理学療法士支援要員の仕事の範囲内であると指定する直接的な介入／治療を効率的かつ安全に行うために、適切な訓練を受けている。
- 理学療法士支援要員は、継続専門能力開発（CPD）にアクセスすることができる。理学療法士が行う仕事を導く倫理原則には、患者／クライアントの直接的な介入／治療における理学療法士支援要員の適切な扱い方を具体的に明記すべきである。（注1, 2）
- 理学療法士支援要員に対するメンバーシップの付与が検討されている。

WCPTは、理学療法サービスが提供される環境にかかわらず、理学療法士のみが以下の責任を果たすものであり、理学療法士支援要員に委任してはならないものとする。

- 紹介状の解釈（紹介状がある場合）。
- 患者／クライアントに対する初期および経過観察の診察／評価、診察／評価のデータ分析、診断および予後／計画の判断、他の人間に委任できない介入／治療。
- 初期の診察／評価又は再診に基づく計画の発展又は修正。これには、理学療法で期待される目標および結果も含む。

- 
- 介入／治療の際に、理学療法士の専門知識と判断を必要とする状況や、理学療法士支援要員に委託する適切なタイミングを定める。
  - 安全、効果的、効率的なサービスの実現のために最も適切な理学療法士支援要員の活用方法を定める。
  - 退院プランを確立し、退院要約を記録する。

規制が成熟し、うまく機能している司法管轄下では、理学療法士支援要員の規制の導入が可能かどうかを検討すべきである。

---

[Glossary \(https://world.physio/resources/glossary\)](https://world.physio/resources/glossary)

**Assessment**

**Continuing professional development (CPD)**

**Diagnosis**

**Goals (clinical)**

**Physical therapy**

**Professional regulation**

**Prognosis**

**Scope of practice**

**Support personnel**

**Workforce**

<b>Approval, review and related policy information</b>	
<b>Date adopted:</b>	Originally approved at the 13th General Meeting of WCPT June 1995. Revised and re-approved at the 16th General Meeting of WCPT June 2007. Revised and re-approved at the 17th General Meeting of WCPT June 2011. Revised and re-approved at the 18th General Meeting of WCPT May 2015. Revised and re-approved at the 19th General Meeting of WCPT May 2019.
<b>Date for review:</b>	2023
<b>Related WCPT policies:</b>	WCPT ethical principles WCPT policy statements: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Description of physical therapy</li> <li>• Ethical responsibilities of physical therapists and WCPT members</li> <li>• Health human resources</li> <li>• Relationships with other health professionals</li> <li>• Regulation of the physical therapy profession</li> </ul> WCPT guideline: <ul style="list-style-type: none"> <li>• WCPT guideline for the development of a system of legislation/regulation/recognition of physical therapists</li> </ul>

## References

1. World Confederation for Physical Therapy. Policy statement: Ethical responsibilities of physical therapists and WCPT member organisations. London, UK: WCPT; 2019. [www.wcpt.org/policy/ps-ethical-responsibilities](http://www.wcpt.org/policy/ps-ethical-responsibilities) (Access date 30 August 2019)
2. World Confederation for Physical Therapy. Policy statement: Physical therapist practice specialisation. London, UK: WCPT; 2019. [www.wcpt.org/policy/ps-specialisation](http://www.wcpt.org/policy/ps-specialisation) (Access date 5 September 2019)

© World Confederation for Physical Therapy 2019